

FC IMABARI



SUSTAINABILITY REPORT 2025





CONTENTS

イントロダクション

トップメッセージ P4

『SUSTAINABILITY REPORT 2025』の位置づけ P5

01 脱炭素

省エネルギー・再生可能エネルギーの活用 P7

CO2排出量の少ない移動 P8

低炭素食品 P9

02 資源循環

プラスチックの削減・水の効率利用 P10

ゴミの削減/管理 P11

03 生物多様性

生態や植生の維持 P12

04 コミュニケーション

教育 P13



イントロダクション



トップメッセージ

この度FC今治は、環境負荷の抑制に向けたクラブの取組みを整理し、サステナビリティレポートとして取りまとめました。

FC今治が掲げる「次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する」という理念。これは私たちの存在意義そのものであり、変わることはない原点です。

環境負荷を抑制し、地球の持続可能性を維持することは、次世代のための社会創りにおける大前提であり、弊社のミッションステートメントでも「地球環境に配慮して事業活動を行う」ことを約束しています。

アシックス里山スタジアム、しまなみアースランド、野外研修拠点等の事業拠点は、試合やイベントが行われる日だけのものではありません。365日、これらの場所に宿る豊かな自然を守り、無駄な消費・消耗をそぎ落とし、地域の自然の循環を創る。企業理念やミッションステートメントは、こうした日常の取組みの中にこそ息づいていると私は思います。

もっとも、環境保護は、サステナブルな未来に必要な一つの要素ですが、それだけで社会が持続可能になるわけではありません。

顔の見える関係性の中で、誰もが共に手を取り合い、社会や世界の課題解決に動ける、そんな「共助のコミュニティ」を創ること。それこそが、私たちの目指す持続可能な社会の根幹です。

私たちは、自然環境の循環と、支え合い・助け合いの循環を重ね合わせることで、いつも支えていただいている皆さまとともに真に持続可能で豊かな社会創りを進めてまいります。

株式会社今治 夢スポーツ
代表取締役社長
MASAFUMI YANO 矢野将文





『SUSTAINABILITY REPORT 2025』の位置づけ

『SUSTAINABILITY REPORT 2025』の位置づけ

- 私たちFC今治が手掛ける事業や取組み、そのすべては企業理念「次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する」に繋がっています。
- 持続可能な地球・社会を次世代に繋ぐため、私たちはミッションステートメントの一つに「地球環境に配慮して事業活動を行う」ことを掲げ、従来より環境負荷の低減、地域共生の実現に向けた取組みをすすめてまいりました。
- 一方、取組みをクラブ内に留めず、社会全体の変革を加速するためには、取組の事例やその重要性を広く発信・周知し、共感の輪を広げることが不可欠です。
- 多くの方々に支えられ、多様なステークホルダーが交わるサッカークラブだからこそ、発信することが社会を動かす力になると信じ、FC今治の現在の取組みを本レポートに集約しました。
- FC今治に関わり、いつも支えて頂いている皆さまとともに、今後も次世代のための社会創りを進めてまいります。

企業理念

次世代のため、
物の豊かさより
心の豊かさを大切にする
社会創りに貢献する

ミッション ステート メント

1. 社員に始まり、より多くの人たちに夢と勇気と希望、そして感動と笑顔をもたらし続けます
2. 多様な人が集まり活気ある街づくりに貢献します
3. 世界のスポーツ仲間との草の根の交流を進め、世界平和に貢献します
4. 地球環境に配慮して事業活動を行います



サステナビリティに関する取り組み紹介

CO₂排出量の把握CO₂排出量を把握し、削減のための取組を検討

クラブ活動によるCO₂排出量の可視化に取り組んでおり、2024年のCO₂排出量は200t（scope1,2）と概算されました。様々な取り組みを行い、クラブの排出するCO₂量を削減しています。

また、scope1～3までを含めると、観客移動や飲食・グッズ販売にともなうscope3の排出量が多くを占めると考えられ、ファンの皆様の行動変容が重要であることから、ファンの皆様との取組も多く進めています。

再生可能エネルギー活用

しまなみアースランドにて、太陽光発電を活用

しまなみアースランドの敷地内の園路灯は太陽電池で作られたエネルギーを使用しています。

また、学習棟の屋根にも太陽電池が設置されており、事務所の照明等に使われています。



省エネルギーの取組

省エネ設備を導入、省エネにつながる行動を促進

アシックス里山スタジアム内の照明はLED照明を使用しているほか、事務所エリアでの冷暖房使用を控える等、省エネにつながる取組を行っています。



撮影：川澄・小林研二写真事務所

水素実証実験の実施を予定

「愛媛県今治市における地域における地域産業と観光業による水素サプライチェーン構築及び付加価値創出に関する調査」（環境省公募）に参画しています。アシックス里山スタジアムにおける水素の活用やカーボンニュートラル製品のブランド化に向けた調査・検討を通じて、水素サプライチェーンの構築、それによる地球環境の保全に貢献していきます。



シェアリングモビリティ

mobiと連携し、実証実験を実施

2023年2月より、Community Mobility株式会社と連携し、今治市街地を中心にAIシェアリングモビリティサービス『mobi』の実証運行を行ってきました。

スタジアムへの新たな移動手段として、観客の皆様の利便性を向上させるとともに、移動によるCO₂排出量の削減にもつながっています。

2025/11月からは伯方島で、ライドシェア+貨客混載といった新たな実証を開始したほか、市街地サービスは2026/2月より実証から本格運行への移行を予定しています。



省エネルギーの取組

アーバンリサーチ社と協働し、サイクルステーションを設置

FC今治が管理する「ぼうしろの森」の資材を一部使用したオリジナルサイクルステーションを設置し、CO₂排出の少ない移動である自転車での来場体制を整備しています。

サイクルステーションは、アーバンリサーチ社と連携してワークショップ形式で参加者の皆さんと製作しました。



電気自動車の活用

イベントでの電気自動車の活用

しまなみアースランドで実施した緑化フェア×アースマルシェにて、共同主催者の今治市が所有する電気自動車を、利用者の移動に活用しました。



里山ファーム

環境保全をコンセプトとした「里山ファーム」活動

土に触れて食料の恵みに感謝する心を育むべく、スタジアムの「里山ファーム」にてピーマンや大葉、ぶどうなどの栽培を行っています。

環境保全をコンセプトに掲げ、化学肥料や農薬の使用を極力抑えた栽培を行っているほか、たい肥や竹など自然素材を用いた栄養豊富な土壌「レイズベッド」づくり等の活動も行っています。



里山サロンでの地産地消

里山サロンでスタジアムの畑で生産された食材を利用、地域の果樹園や酒蔵との製品を開発

スタジアムに併設のカフェ里山サロンでは、環境に配慮した包装での提供や、地元の食材を使ったメニューの提供を行っています。

里山ファームで収穫された野菜や果物を使用したメニューや、地域の果樹園や酒造と連携したメニューの開発にも力を入れています。



FC今治田んぼ

ファン・サポーター参加型の活動を実施

スタジアム近くの耕作放棄地を活用した「FC今治田んぼ」で2023年から米づくりを継続しています。

ファンやサポーターの皆様やFC今治高校里山校の生徒にも、田植え、稲刈り、収穫等の活動を体験してもらうとともに、食物の地産地消にも繋がる取り組みになっています。



循環資源の利用

植物性チップの使用/プラスチック容器不使用/バイオプラストローへの代替

スタジアムの人工芝部分のクッションには、ゴムではなく、植物性のチップを使用しています。

また、里山サロンでは、商品の包装に紙製の資材を使用しているほか、バイオマスプラスチックストローを提供しています。



ビーチクリーン活動

地域と連携したビーチクリーン活動を実施

パートナー企業や地域の団体と共に、ビーチクリーン活動に取り組んでいます。また、海洋ごみをキーホルダーにするアップサイクルワークショップの実施等、回収と再資源化で焼却・埋立由来の排出を抑え、資源循環と海洋生態系保全を促進することに取り組んでいます。



井水・雨水の利用

ピッチ散水や便所等における井水・雨水の利用

スタジアムでは雨水・井水を活用する水処理システムを導入しており、トイレの排水や外構緑溝、ピッチの散水に利用するなど、資源の有効活用と浄水の節水に取り組んでいます。



アースランドでの雨水利用

しまなみアースランドでの雨水の有効活用

しまなみアースランドでは、花の水やりに雨水を使用することで、水利用の効率化に取り組んでいます。



エコステーションの設置

びん、かん、ペット、段ボールのリサイクルを目的としたエコステーションを設置

スタジアム内3か所にオリジナル装飾のエコステーションを設置し、①燃えるごみ②ペットボトル③プラスチック④缶・びんの4分別を推進しています。分別とリサイクル、地域回収により焼却・埋立由来の炭素排出と輸送負荷を抑え、資源循環の促進に取り組んでいます。



シューズのリサイクル

アシックスと連携した使用済みシューズのリサイクルを実施

アシックスより提供頂いている選手の移動用シューズ「NIMBUS MIRAI」は、シーズン終了後にアシックスにより回収・リサイクルする循環型シューズです。2026年からは、試合で使用したユニフォームについても回収・再利用を予定しています。



衣類のアップサイクル

試合時に衣類を回収しているほか、アールンリサーチ社共催の衣類アップサイクルワークショップを開催

アールンリサーチ社と共同で、廃棄衣料のアップサイクル生地でポーチを作るワークショップを実施しました。また、ホーム戦では衣服の回収を行うことで、分別・アップサイクルに向けた啓発活動をしています。

廃棄衣料のアップサイクルと分別・回収により焼却由来のCO2排出や新規製造の負荷を低減し、資源循環と行動変容の促進に取り組んでいます。



生態系の維持

開渠排水・浸透性舗装の採用/ブドウ畑の整備

スタジアムではコンクリートの排水路ではなく、植栽・石・砂利を活用した開渠排水を行っており、排水路や池が生き物のすみかになっています。

また、雨水が地下浸透しやすい浸透性舗装やワイン用のぶどう畑の整備等、生態系の維持に取り組んでいます。



野外教室

自然における生物や植物とのふれあい体験

「しまなみ野外学校」では、海・山・川などの自然環境下での生活を通じて、生物多様性の周知に取り組み、地球環境・自然への関心を高めるきっかけを提供しています。



植栽整備・緑化フェア

しまなみアースランドにおける植栽整備/緑化フェア、整備ボランティアを実施

体験を通じて自然との共生を学ぶことを目的に造られた公園「しまなみアースランド」の管理運営を行っています。しまなみアースランドでは、公園管理のボランティアの皆様と植生の整備に取り組んでいます。



土壌調査

スタジアム・しまなみアースランドの土壌調査を産総研と連携して実施予定

産業総合技術研究所と連携し、里山スタジアムとしまなみアースランドの土壌調査を通じて、植生不良なエリアの原因究明、改善策の検討などを行っています。科学的知見に基づく適地適木と土壌改良で生育率を高め、多様な植生の維持を目指しています。



体験教育プログラムの実施

海・山・川・森などの自然環境下での教育プログラム

「しまなみ野外学校」ではシーカヤック・キャンプ・登山などを通じて、自然と暮らしの共生を体感する環境教育を実施しています。

しまなみアースランドでは、環境教育プログラム・体験学習を提供しています。幼児向けの環境教育プログラム「moricco」では、植物や生物との関わり方を学ぶ場を提供しています。



ファン・サポーターと考える場

三井物産によるデカボマッチの実施など、ファン・サポーター向けの環境関連イベントを開催

三井物産マッチデーにて、「デカボ(*)マッチ」を開催しました。普段の生活に関する質問に回答することで、個人が排出している二酸化炭素を計測したり、愛媛県内のデカボ関連商品のPRなど、来場者の皆様に楽しみながら脱炭素について考えていただく機会を提供しました。

(*)デカボはDecarbonizationの略で、二酸化炭素の排出量をゼロにすること。



「わたし地球」の配布

企業と共同制作した環境教育冊子の継続配布

市内の小学生向けに環境教育冊子「わたし、地球」を配布しています。

地球が誕生してからの46億年の歩みや、たくさんの生き物が命のバトンをつないで生命が循環していく様子、2030年までに達成すべき17の目標をイラストとともに描き、生き物みんなが幸せに暮らせる環境を考えるきっかけを提供しています。



SDGsの取り組み紹介

しまなみアースランドにおけるSDGsに関する取り組みの紹介

しまなみアースランドの展示室での掲示や、HP・instagramにおいて、環境教育プログラムやイベントでの取り組み内容を発信しています。

